



## 3年生 「おかざき自然体験の森」環境学習

10月26日(水)に、3年生がおかざき自然体験の森で環境教室を実施しました。もともと9月22日(木)に予定していたのですが、あいにくの雨により延期となっていたため、待ちに待った行事に子供たちは大喜びでした。

おかざき自然体験の森は、岡崎市の北部の八ツ木町にあり、豊かな自然環境の中で、自然を観察したり体験したりすることによって、さまざまな環境教育を進めていく場として作られた施設です。3年生は、「自然とふれあう・仲間とふれあう・人とふれあう」をめあてに、様々な活動に取り組みました。体験の森の生き物カードをみんなで並べて「生物多様性」について考える活動。生き物のヒントからその生き物を推測し、生き物の特徴や生態について考える活動。森を散策しながらビンゴシートに示されたものを探す活動。自然を題材にして美術作品を作る活動など、森の豊かな実りに触れながら、自然と人間が共存していくことの大切さを知ることができました。



おかざき自然体験の森では、今後「秋の風まつり」や「干し芋づくり・さつま芋づくり体験」「竹細工教室」などが予定されています。家族で訪れてみるのもよいと思います。

## 4年生 社会科見学「中央クリーンセンター」



10月26日(水)に、4年生は「中央クリーンセンター」で社会科見学を実施しました。4年生は2学期になってからも、「水育」の出張授業や愛知県出前講座「川と海岸を学ぼう」「防災について」など、外部講師の方をお招きしながら意欲的に環境について学んでいます。今回は、ごみの処理方法の仕組みや工夫を学び、ごみ減量活動について考えるために、中央クリーンセンターを訪れました。

中央クリーンセンターは、「岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画」に基づき、平成23年から稼働しています。ごみの処理方法は、燃焼するのではなく熔融処理し、熔融物の資源化と熱エネルギーの回収を行い、ごみを「安全」に処理できるようになっています。また、ボイラから送られてきた蒸気によって電気が作られたり、高温熔融処理されたごみがスラグ・メタルにされ、アスファルト合材や建設機械のおもりとして有効利用されたり、最終処分量が従来約5分の1と大幅に低減されたりするなど、「安心」できる施設となっています。子供たちは、ごみピットからクレーンによって熔融炉にごみが運ばれる様子や熔融物が熔融炉から流れ出てくる様子など、興味津々に見入って学習を深めていました。何よりもごみを出さないことの大切さを学びました。

